



## 新年の御挨拶

### 静岡県中小企業団体中央会 会長 山崎亨

新年明けましておめでとうございます。

会員組合の皆様をはじめ、日頃より私共の事業にご理解とご協力を賜っております関係各位に、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、令和7年を振り返りますと、我が国では愛知万博以来20年ぶりとなる「大阪・関西万博」が開催され、世界に向けて日本の未来社会像が発信されました。技術革新と人のつながりがもたらす希望の象徴として、多くの方々に新たな活力を与えた一年がありました。

一方で、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しく、資材・燃料価格の高騰、人手不足、労務費の上昇、働き方改革への対応など、多くの課題が存在しております。さらに、カーボンニュートラルやデジタル化など、構造転換への対応も迫られており、個々の企業だけで取組むことは容易ではありません。

様々な課題解決には、これまでの経験値だけでなく、新しい発想や着想が必要であり、こうした大きな変化の時代にあってこそ、相互扶助を基盤とする協同組合の役割が重要となります。組合員が互いに支え合い、力を結集して課題に立ち向かう組織が地域に在ることは、地域産業の持続的な発展を支える大きな原動力となるものと考えます。共同による受発注の効率化、人材育成や事業承継の支援、さらには地域との連携強化など、協同組合だからこそ実現できる取組みを通じて、地域経済全体の底上げを図ることが期待されます。

こうした状況を踏まえ、本会では令和6年度より「共同による稼ぐ力向上への挑戦」をテーマとする5か年計画に取組んでおります。本計画は、組合が取組む“組合員の新しい稼ぐ力の創出”を支援するもので、特に、「人材の確保・育成」「カーボンニュートラル・省エネへの取組」「地域課題の解決」「売上拡大・生産性向上・業務効率化」の4分野を重点テーマとし、組合の強みを活かしたビジネスモデルの構築と普及に努めております。3年目を迎える令和8年度は、これらの取組みを一層加速させ、成果の具体化と波及を図る重要な年となります。県内各組合それぞれの特性をより活かした挑戦を皆様とともに実現してまいります。

本年の干支は「丙午（ひのえうま）」であります。「丙」は太陽のような明るさや情熱を、「午」は行動力とエネルギーを象徴するといわれます。この「丙午」の勢いにあやかり、産業構造が大きく変化する今こそ、共同の力によって未来を切り拓く時であります。各組合、関係機関、行政・金融各方面が連携し、地域の持続的な発展を支える新たな挑戦を積み重ね

ていくことが求められています。

大阪・関西万博が示したように、日本には世界に誇る技術と創意の力があります。それを支えているのは、地域産業の中核を担う中小企業のたゆまぬ努力と、これを支える協同組合の組織力です。互いに手を取り合い、地域の信頼と絆を深めながら、未来へつながる「稼ぐ力」をさらに高めてまいりましょう。

私共中央会と致しましても、県内組合および中小企業の振興発展に向け役職員一丸となり、支援体制の充実と制度の普及促進に努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして新たな挑戦と発展の一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて戴きます。